

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年2月4日（木）
 開催時間：10時00分～13時14分
 開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
 道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員
 牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長
 教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長
 産業経済部長、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長
 教育部長、消防長、上下水道部長（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

（報道）NHK、山陰中央新報社、中国新聞、朝日新聞

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 寒波による水道管破損に伴う断水状況について
- (2) 浜田市有料駐車場の指定管理について
- (3) 「行財政改革実施計画」・「公共施設再配置方針及び第1期公共施設再配置実施計画」策定に係る議会意見交換会の開催について
- (4) シングルペアレント介護人材育成事業（第2期生）の申請状況について
- (5) 浜田城周辺整備（城山公園整備）の検討状況について
- (6) 国補正予算（第1号）に係る対応について
- (7) 平成27年度浜田市ふるさと寄附の状況について
- (8) 浜田市火葬場整備計画の見直し(案)について
- (9) 高度衛生管理型荷捌所の整備動向について
- (10) 浜田市教育大綱について
- (11) 市立幼稚園の統合について
- (12) 浜田市水道料金審議会の答申について
- (13) 水道料金改定最終案の延期について
- (14) 相生水源地跡地の利活用について
- (15) その他
 （配布物）
 ・行政不服審査法の改正について

【裏面へ続く】

- ・浜田市封筒デザイン公募について
 - ・各支所庁舎耐震診断結果（速報値）について
 - ・平成27年国勢調査 浜田市人口速報集計結果について
 - ・浜田市過疎地域自立促進計画の策定について（中間報告）
 - ・地域資源等の活用推進の取組について
 - ・まちづくり総合交付金制度説明会の日程について
 - ・浜田市地域公共交通再編計画の策定等について
 - ・「平成27年度2月版浜田市税だより」の発行について
 - ・浜田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について
 - ・臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
 - ・証明書コンビニ交付の利用状況について
 - ・個人番号(マイナンバー)通知カードの送達状況及び相談窓口利用状況について
 - ・ごみ処理基本計画後期5ヶ年計画の策定について
 - ・萩・石見空港利用者の状況について
 - ・浜田市情報発信サイト「Hamada Diary」サイト公開について
 - ・中国電力（株）による火力電源入札の落札者決定について
 - ・漁業別水揚げについて
 - ・「浜田港四季のお魚」認証店マップ はまごち加盟店マップについて
 - ・浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定締結1周年記念フォーラムの開催について
 - ・平成27年度卒業（園）式及び平成28年度入学（園）式日程
 - ・平成28年度 全国高等学校総合体育大会体操競技について
 - ・美又温泉国民保養センターについて
 - ・旭温泉あさひ荘木質チップボイラの再稼働に向けて
- 2 その他
- （議会関係配布物）
- ・浜田市議会委員会条例
 - ・浜田市議会説明用パネル取扱い要綱
 - ・「会派代表による一般質問」実施要綱
- （議長）
- ・政務活動費の視察報告書の提出について
 - ・フェイスブックの取り扱いについて

【詳細は会議録のとおり】

西田議長

ただいまから全員協議会を開催する。

1. 執行部報告事項

(1) 寒波による水道管破損に伴う断水状況について

西田議長

この件について、市長。

久保田市長

断水等の報告に先立ち、私から最初に発言させていただく。先週の厳しい寒波襲来により発生した水道管破損に伴う大規模な断水においては、皆さまに大変ご迷惑をおかけしたことをまずもってお詫び申し上げます。断水は市内ほぼ全域で発生し、最も長い所では6日間におよび30日(土)午前9時まで行われたが、それ以降は復旧している。断水期間中は市民や事業者の皆さまに多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げたい。また節水についてもご理解とご協力を賜ったことに感謝を申し上げたい。

このたびの大雪、断水への対応については、1月25日に災害対策本部を設置し全庁的に対応にあたったが、取り組みにおいていくつか課題も見受けられる。現在、各課において今回の事案について課題を洗い出すとともに、それを検証し今後の対応改善に活かしたい。

また、今回の断水が大変長期化した要因の一つに空き家の漏水が随分あった。この対策についても検討しなければならない。

この後、今回の雪害の全体的なことについては総務部長から、そして水道管破損に伴う断水については上下水道部長からご報告させていただきたい。

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

上下水道部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、議員から質問等があれば。森谷議員。

森谷議員

会議の格があるような言い方をされたが、何種類あってどの辺なのか。例えば平成25年8月24日の水害の規模ならどの格か。

総務部長

基本的に大規模災害の場合は災害対策本部会議を招集することにしてはいるが、災害規模により、その前段である準備態勢等の会議をしている。25年水害の時にも、確か災害対策本部会議を設置したと記憶している。

森谷議員

また寒波が来るかもしれないので対策を考えて発表するということを言っておられたが、今の時点で改善した点は。

上下水道部長

今は改善点を検証中である。例えば空き家部分をどうするか、例えば災害協定等を結ぶ中で検針員による漏水調査を速やかに実施出来るような方法を現在検討している。

森谷議員

では今日明日に寒波が来た時に、同じようなことを繰り返すのか。

上下水道部長

今回は家庭内の漏水が大きな原因のため、その広報の仕方は改善出来ると思う。例えば高齢世帯で今までのような凍結防止対策が取れなくなっている実態があります。あるいはアパート等に入居する凍結防止策の知識がない若者等に少し具体的な方法を含めて広報するような方法に改善していきたい。

森谷議員

凍結注意という漠然とした言い方はあったが、そう言われても何をすべきかの具体的な指示がなかった。ケーブルテレビはお金を払って加

入している人しかわからない。Facebook、Twitter、LINEといった、凍結の対応方法を知らない若者に対してすごく有効なのに、私が頼んでも意識しておられなかった。通信体制や広報体制の不備が原因ではないか。

上下水道部長

先ほどご報告したとおり、市民への周知については防災行政無線、メール、ケーブルテレビ、ホームページ等で行っている。議員のおっしゃった部分については重要だと思うので検討していきたい。

森谷議員

本部会議が開かれて、災害が起きている最中に市長が浜田を離れられたそうで。危機感が薄いのではないか。どういう理由があったのか。

久保田市長

防災事案については市長が率先して対応するものと私も認識している。今回の大雪についても、災害対策本部は月曜午後に設置されたが、その前の土日から電話連絡等も含めて状況確認をしながらやってきた。月曜に対策本部を設置して状況確認をしているが、その際には漏水が一番…断水の可能性があるかと判断はしていた。対応は大きく4点。節水の呼び掛け、漏水の確認とその対応、断水をするかどうかの判断、市民への周知と給水体制。私は本部長としてこれを月曜に協議し対応した。

市長は防災対応を最優先でやるべきだが、他にも市長は色んな課題を背負って対応しなければならない。水曜には、浜田市の将来に影響する可能性のある大きな課題について関西方面で協議をしなければならなかった。先方の都合がつかず、どうしてもこの日に協議をしたいという事情があった。3月議会にかける案件にも関係しているし、今後提出予定だが地方創生関係の案にも関わる大きなテーマの協議だった。そのため月曜にこの出張をどうするか協議した。月曜にはだいたいのポイントを確認したので、火曜から入っていた副市長の出張を急遽取り止めてもらい、火曜は副市長が本部会議に出席し、私と連絡を取りながらやろうと。火曜の朝は浜田道が通行止めになり、行くかどうかの判断を相談の上で決め、まず広島まで出て、新幹線に乗る前に本当に乗っていくべきかを電話協議し、何かあれば帰ってくるという前提のもとで行くと判断した。

確かに議員がおっしゃるように、こういった事案の時に出張して良いのかという指摘については、ごもっともだと思う。しかしこのタイミングでどうしても将来の浜田に関連する大きな事案について協議しておきたかったため、市長代理である副市長に会議を仕切ってもらって対応した。

なお、この間も副市長とは頻繁に電話で連絡を取り合い状況確認もしているし、電話越しに本部会議へ参加したりもした。

森谷議員

私は出張の方へ副市長が代行するべきだったと思うが、まあいい。

読売新聞に出ていたが、4年前に災害があっけきつちり対応したという熊本県荒尾市では、30人が日曜から全員泊まり込み体制で出ていたと言われている。今回、土日の凍結に対する人員配置はどのようになっていたか。

総務部長

寒波襲来による凍結の対応について、安全安心推進課は情報提供するため終日登庁して対応している。これ以上の話については今は情報がないため後ほど報告する。

森谷議員

タンクから水が減って断水の恐れがあることは推測出来たと思う。荒尾市では前もってタンクを満タンにする準備もしておられるそうだが、浜田市はどうか。それと、今も漏水があるはずなので検針員は早いサイ

上下水道部長	<p>クルでのチェックが必要だと思うが、どのような準備をしているか。</p> <p>今回の配水池の状況は、24日までは正常。24時間監視を行っており、急激に減ってきたのが25日(月)の午前中からだった。当初は急激な水位低下ということで水道本管の漏水を疑い、まずは調査をすぐ実施した。配水池は基本的に常に満水である。</p>
森谷議員	<p>検針員だが、特に浜田自治区は約2万世帯あるので現在も調査中で、本日終了予定になっている。今回の検針員の実施をもう少し早くということだが、初めてのケースであり特に浜田自治区は件数が多いので、実際に検針を行っている委託会社とすぐ連絡を取ったのだが、通常業務とは違う形であり、実施出来たのが27日からである。</p>
森谷議員	<p>金城以外は消防団が出動しなかった。消防団にスコップで雪かきをしてもらう等、折角1000人近くいるのだから人海戦術が出来たと思うが、敢えて消防団に出てもらわなかったのは何故か。</p>
総務部長	<p>消防団の要請については各自治区長の判断に任せている。浜田自治区においては市長あるいは消防長となっている。金城自治区は自治区長の判断でなされたのだろうが、他自治区については要請がなくても対応出来るという判断をされたのだと考える。</p> <p>併せて先ほどの人数のご質問に回答させていただく。23日は職員は登庁していないが、24日の朝3時35分に警報が発令されたのを受け、課長が3時45分に登庁した。それ以後、安全安心推進課の職員が順次5人登庁し対応にあたった。</p>
森谷議員	<p>金城は岡本自治区長が要請したのではなく、消防団から押し売りのような形で仕方なく出動要請をされたという形ではないかと思っている。答弁は結構。</p>
西田議長 原田議員	<p>他に。原田議員。</p> <p>23日からの寒波豪雪については執行部の皆さんも大変だったと思う。これから色んな面で充分に検証していただき、次にこうしたことが起こった時に対応が出来るように願います。</p>
旭支所長	<p>参考に聞きたい。旭自治区は断水がなかったとのことだが、凍結防止策等の色んな対応が取られて万全な処置があったためか。</p> <p>旭自治区はギリギリ断水を避けられた。旭は寒冷地ということもあり日頃から凍結防止の習慣が身につけているし、漏水確認のお願いと節水についてはずっと防災無線等でお願いしてきた経緯があった。何より元水道部の経験者が数名いたので彼らの的確な判断で空き家対策等を迅速にやった。職員はどの家が空き家か全て知っているのので、集中的にチェックして漏水箇所を止めていったことで何とか対応が出来たと思っている。</p>
原田議員	<p>非常に良い対策が出来ていたのだと思う。他自治区も今後の参考にさせていただきたい。</p>
西田議長 足立議員	<p>他に。足立議員。</p> <p>断水のことはだいたい分かったが、各自治区の積雪状況を教えて欲しい。</p>
西田議長 足立議員	<p>資料がない。では後で。足立議員。</p> <p>今回断水の被害も大変あったが、積雪も各自治区である程度あったと思う。同じような積雪があった際に消防団を出されるのかどうかは自治</p>

区長の判断に委ねるとの回答があった。今回はお一人お亡くなりになられている。先ほど市長は将来の浜田市のためにと言われたが、人命より重いものは無いと私は思っている。人命第一に考えて消防団の活用をしっかりとしていきたい。

健康福祉部長

それから福祉環境調査会の中でも話したが、このたびの断水の中で要援護者台帳の活用はどのようにされたのか。

現在、避難行動要援護者ということで取り組んでいる件だと思う。今回について浜田自治区においては、特別それを活用しての協力要請等はしていない。金城自治区においては民生委員等を通じて、支援が必要な方あるいは小さい子どもさんがおられる方については支援が必要かどうかの問合せや支援をされたと聞いている。

足立議員

断水時の給水等、重い物を持ってない高齢者、家から出られない高齢者も実際におられた。浜田市は適切に対応が出来たかどうか疑問を感じている。要援護者台帳の整備を今年度取り組んでおられた中で、これが活用されなかったことは大変残念に思う。

それから水道部の対応について市民から苦情が来た。断水が終わった後の水が白く濁っており、飲んでも良いのか分からなかった高齢者の方が水道部に電話したところ、それはカルキだと回答があった。ではカルキは飲んでも良いのかが分からない。求められた回答を出してもらいたい。浜田自治区はスピーカーで断水状況を放送されていたが、男性の声で尚且つ途切れ途切れで聞こえづらい、何を言っているのか分からない。自治区においては防災無線があったのである程度把握出来たが、旧浜田市においては何を言っているのかさっぱり分からないという問合せがあり、その点についても水道部に確認したが、私がかけた電話は二度切られた。大変混乱しているのはよく分かったのだが、こういう時こそ市民サービスを丁寧にしていただきたい。水道部長、どのようにお考えか。

上下水道部長

給水所まで取りに来られないという問合せをいただいた方には、水道部職員が家庭まで直接届けた。

浜田自治区の防災無線なり広報車が非常に聞き取り難いという苦情を多くいただいた。現段階で出来る方法は実施するというところで行ったが、どこまで広報や周知が出来たかには疑問が残るので、改善点だと思う。

総務部長

積雪状況について回答すると、1月25日5時現在の状況は旭町都川で63センチ、坂本77センチ、金城町波佐で64センチ、弥栄町安木56センチ、参考までに北広島町大佐山で121センチと聞いている。なお市役所前は当時6センチの積雪があった。

それと防災無線等が大変聞きづらいというご意見は市民から多数伺っている。これも課題として受け止めて何らかの対策を検討する必要があると考えている。

西田議長
野藤議員

他に。野藤議員。

水道料金の減免についてで、やる方向で分かり易い方法で周知したいと言われた。調査会の中で、一軒当たり最大漏水量130トンくらいあるとの話で、私も1軒見付けて独居の方の止水栓を止めたんですが、料金の事を気にしておられた。分かる範囲で良いのだが、どの程度の減免方法なのか。分かる範囲で。

上下水道部長

現在検討中であり市長とも協議していないので詳しいことは言いづら

いが、検針には奇数月と偶数月がある。今からだ2月中旬と3月中旬に検針をし、その際にいくら漏水したかが確定する。今回水道管や給湯器の破損によって修理修繕に出された家庭がまず対象になると思うが、高齢者世帯も相当数おられると思うので、これが申請方式だとすると減免をすることをまず理解していただかないといけないし、申請方法も非常に簡単にして誰でも申請出来る方法を検討している。漏れがあったら困るので全員に周知するにはどうしたら良いかを含めて検討している。減免金額については未決定だが、今ある浜田市減免規定は、床下漏水等を対象にしており漏水量の半分を減免にしている。しかし今回は自然災害によるものと思われるので、従来の方法ではなく特別な方法が必要だと考えている。従来よりも拡大する方向で検討中。

野藤議員

私が止めた所は独居の方で耳も聞こえにくい方だったので、漏れが分からなかったのかと思う。130トンの半分といっても60トン以上となり相当な金額になる。年金だけで生活しておられるので、是非その部分は考慮していただきたい。答弁はよい。

西田議長
道下議員

他に。道下議員。

浜田自治区については行政無線が届かない。冬の夕方で窓も閉め切っている。広報車も数は限られており、何を言っているか分からない状況だった。今ある消防積載車には拡声器がついているので是非利用して欲しかった。次回から充分承知してもらって、消防団を有効活用して欲しい。

西田議長

他に。私も広報車の件だが、終盤に女性の声で広報車が回ってきた広報は聞きやすいし気持ちや和むということで、是非女性職員も今後ご活躍をお願いする、という市民の声を伺っている。では次の議題に移る。

(2) 浜田市有料駐車場の指定管理について

(3) 「行財政改革実施計画」・「公共施設再配置方針及び第1期公共施設再配置実施計画」策定に係る議会意見交換会の開催について

西田議長
総務部長
西田議長
澁谷議員

この2件について、総務部長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わったが、(2)について議員から質問等があれば。澁谷議員。

これまで観光協会はいくつかのトラブルがあり、かなり議会でも議論になったと記憶している。昨年7月は監査委員からの報告書によって観光協会の内容に対し非常に厳しい指摘がなされていた。それを読んだ時に、このような厳しい指摘がある決算内容を認定することは出来ないと感じた。それを9月の決算委員会で質問させていただいたら、代表監査委員から「業務改善命令に対して監査委員から指摘していることに対して、半年近くもその回答がない団体は自分の経験上考えられない」という答弁をいただいたと私は記憶している。そういう極めて問題のある団体に、公募ではなく指名をすることは考えられないと私は理解していた。指名するということは執行部もそれなりに覚悟を持ってされたと思う。それが何故今になって「話が合わなかったから撤退」となるのか。訳が分からない。どういうことか。

総務部長

確かにこの件を指定管理制度の中で指名でやることについては、議員からも色々なご意見をいただいた。6月議会で条例提案をする際に、まち

づくりに資することに使うべきではないかというご意見をいただく中で、浜田市の観光協会にお願いすれば有効に利用していただけるのではないかと、一方で、観光協会に現在市職員を派遣しており人件費を全て市で見ているわけだが、これも期限を限った派遣となっている。観光協会とするとその期限が切れた後に、一定程度体質強化のためには専任のプロパー職員を採用して業務に当たらねばならないということもあり、そのためには自主財源を確保される必要があるとも伺い、浜田市としては2点、「観光協会の自主財源確保」と「地域（特に商店街）の活性化に資する使い方がしてもらえるのでは」ということで、指定管理者推進本部会議において観光協会を指名予定者とする協議を重ねてきた。結果としてご指摘のようなことになったが、その点については充分反省しなければならない。今後の指名に当たっては充分留意しながら方向性を出していかなければならないと思っている。答えにくくて申し訳ないが、ご理解を賜りたい。

澁谷議員

この提案がなされた時に多くの議員から疑問の声が上がった。しかし私は総務部長が言われたように、観光協会に自立を促すためにこの管理を指名されたのかと想像していた。というのも補助金を出している団体に尚且つ職員1名を派遣し、恐らく時間外手当や退職金積み立て等を考えると年間1000万円近い人件費が使われていると推測出来る。その一方で、職員が足りないから定員適正化を見直すと市長はおっしゃっている。派遣をする余裕があって見直しして固定費大丈夫なのかと思ったら、年末には42億円の赤字だという。この話も訳が分からない。議会はどのようなチェックをしているのかと市民からも言われる。明確な方針と覚悟を持って進めていただきたい。ぶれたらやっておられることがもうぐちゃぐちゃだ。今回提示された理由はどう見ても後付けだ。こんなことがチェック出来ずによく指名したと思う。誰が見ても思うだろう。これが浜田市の行政能力レベルなのかと思うと寂しい。是非反省していただき、このようなことが二度とないように対処をお願いしたい。答弁はよい。

西田議長
森谷議員

他に。森谷議員。

先ほどから「なしなし」という声が聞こえて不愉快だし品が無いと思うので、議長に正しく采配して欲しい。

西田議長
森谷議員

気にしないように。

浜田市の議員がその役員である。6月8日の全協で発言されて地元でやろうではないかと発言され、翌6月9日の観光協会の会議では観光協会ですらやろうではないかと、あたかも出来レースのような形で発言されて進んでいった。その途中で議事録を見たら「補助金は減らされるのか」等金の話ばかりだった。金で話が合わないからといって急に「うちはやらない」ということになった。では今度公募する際に合わなかったものを他に出すのかという話になって、とりあえず一番良い所を観光協会が取ろうと思っていたが、合わないから他に出すという。こんなやり方は理解出来ない。どろどろした所も一緒に説明してもらわないと訳が分からない。条件は変わらずに公募に出すつもりか。

総務部長

観光協会の理事の方からそういう話を承ったが、その話だけで指定管理を観光協会に指名すると決めたわけではない。商店街の活性化等に資する目的と観光協会の自主財源確保の両方を考えた時に、指名で進めた

方が良いのではという判断は推進本部会議の中でさせていただいた。理事の話だけでやったのではないことはご理解いただきたい。

今後公募に出す時の条件は、双方にとってのメリットが満たせなかった中に、納付金について協議する中で駐車場使用の実態見込みが、受ける側は低めに見られる傾向にある。それは平成27年における中電の工事にかかるホテル等の利用者あるいはプレミアム商品券を発行したことによる宿泊施設の利用増等の特需があって利用が増加しているのではないかというのが、観光協会の見方だった。市としてはそれだけではないと思っているので、収入から支出を引いた納付金の折り合いがつかなかった。そこについてはもう少し時間をいただいて、特需によって駐車場利用が多くあったのか、もう少し様子を見ながら見極めていきたいと思っている。必ずしも観光協会と協議していた納付金そのまま交付になるとは考えていない。それより高めの納付金設定で公募する事になるかと思う。

森谷議員

その場合、観光協会が応募してくる可能性もあると思う。一応他と公平に扱うつもりか。それとも観光協会は除かれるのか。今決められないか。

総務部長

特にインセンティブを持たせる考えはない。今まではどちらかと言うと収支が中心になって議論しており、提案部分が充分議論出来なかった状況があるがその辺りはまだ時間があるので、観光協会が他の応募者よりも優れていると判断されれば可能性はある。それは提案を見てみないと分からないし、まず観光協会が公募に手を挙げるのかも分からない。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

では(3)について質問のある議員は。

(「なし」との声あり)

西田議長

ではここで5分間のトイレ休憩をする。

[11 時 05 分 休憩]

[11 時 10 分 再開]

(4) シングルペアレント介護人材育成事業(第2期生)の申請状況について

(5) 浜田城周辺整備(城山公園整備)の検討状況について

西田議長

この2件について、地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、議員から質問等があれば。なるべく所管委員会の方は若干のご配慮をお願いする。森谷議員。

森谷議員

シングルペアレントは相談員もセットになって後押しすると聞いている。現状では相談員の活躍場面があるのか。

地域政策部長

相談員は月4回以上はご本人に会ってお話を聞いていただくことを当面お願いしている。中には同じ職場の方をお願いしているケースもあるが、ご近所の方が多いので色々な時間を見て相談していただき、10月以降も10回以上お会いしていただき色々な会話をしてもらっている。イベントがある際にはその案内をしていただく等、お互いにコミュニケーションを取ってもらっている。

森谷議員	私の誤情報なら良いのだが、辛い思いをして若干弱気になっている人がいると聞いている。これは首相官邸まで招かれて説明をして、なし崩し的に廃止になれば市長の顔に泥を塗ることになるので気を付けていただきたいが。実際は順風満帆か。
地域政策部長	知らない土地に来て子どもさんと生活されるので、色々なご負担や思っ ていなかったトラブルもあると思う。この事業と同様にふるさと農業 研修生事業というのも既にやっているが、その中でも全ての方が残れる わけではない。個人が一生をかけて判断されることなので。越してきた けれどやはり難しいので帰らせて欲しいと言われればそれはご本人の判 断だと思ふ。ただ我々はそういうことがないように相談員を配置したり して、地域に馴染んでいただけるような努力をしその上で判断された場 合はやむを得ないと思っている。
西田議長	他に。足立議員。
足立議員	介護サービス事業所4施設の事業所名を教えて欲しい。
地域政策部長	確定してないので、確定したら報告したい。
足立議員	昨年も申し上げたが施設系ばかり。介護サービスは在宅系もある。昨 年は試行的に応募された事業所を優先させるという話だったと記憶して いるが、今年度この4施設を選定された基準や目安は担当課でどのよう にお考えか。
地域政策部長	今回は第一期生募集の時に受入を希望された所と受入された所が募集 を希望されている。前は研修生とのマッチングが上手くいかず見送ら れたので是非続けてということがあった。足立議員が言われたように、 介護施設と言っても色々あるし介護施設に限定せず人材不足の職種にも 広げていきたい。ただ事業所にもご負担をいただく必要があるのでは ないか。その点が上手く調整出来れば広げていかねばならない。
西田議長	他に。 (「なし」との声あり)
西田議長	では(5)について。森谷議員。
森谷議員	先ほど部長は「城山は高手なので津波の避難場所に使えるのでは」と 言われた。私はかねてから洪水津波山崩れという三重苦の場所に歴史館 はどうかと言いつつ続けてきた。部長には新しい情報が入ってきたとい うことか。
地域政策部長	森谷議員には以前から水害の件で一般質問等もいただいている。その ことについては今回は検討していない。歴史館については今後の検討状 況である。飽くまでも城山公園の話であり、園内道路を整備すれば周辺 の方の避難場所に使えるのではないかとということでお示しした。
森谷議員	使えるのではということとはよく分かった。使うようなことが起きた時 には歴史館は海の中だということをご認識いただきたい。
西田議長	他に。澁谷議員。
澁谷議員	この城山整備の手法に疑問を持っている。検討会議等で意見を聞くと、 市民の要望だからやらざるを得ないと言う。市民は財政状況を考えずに どんどん理想を言われると思う。検討会議の結果はこうだったと言われ た時の議会の立場はどうか、極めて疑問に思っている。このまま進 めていくと報告だけ聞いて最後は「議長団に説明して了解を受けてい る」と議長団の責任にされると議長団に先日言った。本当にこの事業は

優先順位が高いのか。整備する分には良い、ただ過大設備投資になりやすい。予算縮小でやっていく努力を。市の負担は今の所これだけかもしれないが、公債費等で窮屈になって結果的に……こういう表現は問題をすり替えやすいと思う。今後は議会との関係、議会の責任とマッチングするようにどのように進めるのか。

地域政策部長

先ほど説明を漏らしてしまっただけで申し訳なかったが、表に付けていた1枚紙をご覧くださいと分かる。今パブリックコメントを2月21日まで行っている。パブコメの結果を踏まえて3月議会にて所管委員会で報告し、これをやることになれば当初予算にも出させてもらう。過大だということならそこでご指摘をいただかねばならない。今回の中期財政計画で当初想定したよりも市の実質負担額を抑えたのは、国の補助金を活用出来るよう少しスケジュール調整をしたり、出来るだけ実質負担を小さくする努力をしながらやっていきたいと思っている。お示ししている4億4000万より大きくならないように進めていきたいと思っている。最終的には議会の判断をいただいて進めていくものと思っている。

澁谷委員

議会が最後に議決を諮るので議会の権能は守られるという発言だと思うが、議会が当初予算を否決するのはすごく難しいこと。修正もすごく難しいのが現実である。だから余程すり合わせをしていかないと、これは上手い形にならないだろうと思う。最後のページには資料館のことが何も入っていない状態で、どんどん進められて「検討会で市民の皆さんの意見はこうこうでした」と言われたら、議会はより一層否決しにくい。その方々に財政状況を説明するのも困難で、浜田市はどんどん固定費を増やしていく。過大設備投資をしていく、中期財政計画はますます悪くなる。どういう形で議会と議論して良い形にしようとしているのか。口うるさく言うと議会との意見交換会を1回セッティングしてはい終わり、ということではない。姿勢を伺いたい。

地域政策部長

冒頭にも説明したつもりだが、今回は飽くまでも城山公園整備として28年度予算にも計上する考えであり、仮称・浜田歴史資料館については、まだ意見聴取の段階なので方向性をご報告する予定はない。城山公園整備と資料館は分けて進めていきたい。資料館については28年度中旬頃までには検討会の結論を纏めて、また議会との意見交換会等をしながら最終的に方向性を出していきたい。城山公園整備はパブリックコメントが終った段階で再度意見集約し、また議会との意見交換会を。これまでと同様の手順で十分な意見をいただく予定。予算議決でいきなり否決というのはなかなか大変だと承知しているので、そこに持っていくのではなく前段に意見交換を充分やってお互いに理解をいただいて進めていく。

西田議長

足立議員

他に。足立議員。

先ほど澁谷議員が少し触れたが、仮にこれが整備された後のランニングコストについては2月15日の再配置計画説明会等に掲示されるのか、それとも最終的な報告の際に出されるのか。

地域政策部長

公園整備のランニングコストだが、例えば伐採を必要に応じてやることも出てくるかもしれないが、現在の管理費と大差ない状況で進むのではと思う。例えば施設を作れば管理費が出てくるが、管理費等はまたお示しさせていただく。

足立議員

周辺整備の狙いを部長が説明された際、歴史文化の保存・継承・学習

と教育、交流拠点の他に、観光部分に触れられたと思う。観光拠点にと言うが、ゆうひパークも観光拠点だと言われるし、あり過ぎてどれが本当に拠点なのか分からない。是非併せて整理をお願いしたい。観光となれば利用者、入込客数等を勘案しながら収支の部分も触れられるだろうし、そういう面も含めたランニングコストについては是非計算を今後お願いしたい。

地域政策部長

観光部分に特に関わってくるのは仮称浜田歴史神楽資料館があるか無いかも大きく影響してくると思う。ただ浜田市は、本当にこれだけで人が呼べるものがない。今一番集客があるのはアクアスだがそれ以外は点在しているので、あとは周遊コースを作る等して客が長時間滞在してお金を落としてもらえそうな仕組みの一つと考える必要があると考える。

西田議長

他に。原田議員。

原田議員

この周辺整備計画については、基本的には否定しない。しかし現在の財政状況で4億4000万をかけることについてどこまで市民の理解を得られるか心配している。先日の新聞報道の後も市民から「どこまでされるのか」と言われた。市民がどこまでこの城山整備を望んでおられるかが非常に見えにくい。望む人もいるだろうし、まだインフラ整備の整わない状況でここまでお金を使ってやるのか。開府400年のために。散策道整備程度で置くのか、それとも書いてあること全てやるのか。もうちょっと検討していただかないと、浜田を元気にする事業にはまだたくさんの事業が取り込まれている。漁港整備も必要だし、道の駅も重点道の駅に指定されているので、これらも関連付けてやっていかないと駄目ではないか。その中身について十分に意見交換をするようお考えいただきたい。まず出来るだけ経費はかけずに、開府400年事業はソフトだけの事業でも出来るので、それに今のような物を若干加えながらやっていくような方向性も考えていただきたい。

地域政策部長

事業費は抑えたいと思うが、契機がないとこういうことは出来ないのので、契機を大事にしながらか必要最小限の整備をしたい。一方多くの市民がご意見をお持ちなのは承知している。検討会が全ての市民の意見を集約しているとも思っていない。今月中に各地域協議会に出向いて意見を伺い、それについてまたご報告したい。また、2月22日は松原・殿町・それ以外の地域の方にもお越しいただいて説明会をしたりして、多くの方の意見を集め議会に報告してご意見をいただき、最終的なご判断いただければと考えている。

原田議員

是非内容を検討し、出来るだけ経費のかからないように事業を進めていただきたい。

(6) 国補正予算（第1号）に係る対応について

(7) 平成27年度浜田市ふるさと寄附の状況について

西田議長

この2件について、財務部長。

財務部長

（以下、資料をもとに説明）

西田議長

説明が終わったが、(6)について議員から質問等があれば。

（「なし」との声あり）

西田議長

では(7)議員から質問等があれば。

（「なし」との声あり）

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

(8) 浜田市火葬場整備計画の見直し(案)について

西田議長

この件について、市民生活部長。

市民生活部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、議員から質問等があれば。森谷議員。

森谷議員

金額的には4億近く安くなると。新しくあそこに持っていきこうとすると病院や学校もあるし難しい。可能だとしても適切な場所ではない。進入路の問題もある。大規模改修が仮に良いとしても、次は撤退すべきだと思うが、この場所で建て替えるのか。

市民生活部長

ここで一番重要なのは最終的な統合の形を早く示さないといけない。それによって今の4施設のあり方が決まってくる。今の計画では新設としているがどこにいつ新設するのか決まっていないので、それを早く決めて他施設のあり方を検討する必要がある。現地への新設も選択肢の一つに含めて総合的に検討し、なるべく早く方向付けしたい。しかしまずは改修し、その中で将来の姿を探すべきだろうと思う。

森谷議員

松江のごみ焼却炉は2倍くらいの土地を持っていたから、建ててから解体出来た。火葬場はコンセンサスが得にくい所だと思う。100年500年はその場所で出来るように考えてやるべき。

西田議長

他に。佐々木議員。

佐々木議員

経費の比較だが、こういったコンクリート施設は30年で大規模改修、耐用年数は60年だという方針で、今回の大規模改修の方針が見えたのか。

もう一つ、三隅は当初3億2000万から6億7000万ということで倍以上の増額をしないと実質使えないとのことだが、それにしてもこれまであまりにこういった想定がなされずに今回示されるというのは理解しにくい。

市民生活部長

浜田市火葬場の改修を検討する上で、施設の耐用年数は大事になってくる。公共施設に使った考え方を参考にさせてもらったので議員ご指摘のとおりだと思う。

何故当時にこうしたことが分からなかったかだが、金額だけで言うと単価の面が大きかった。当時はコンサルに委託していたが全国平均単価だった。精度の問題ではなかった。

面積的な物だが、葬儀の形態を守っていく。他の先進市の新しい施設はどうなっているかを見に行った結果を踏まえると、当時想定してなかった所が出て来たためだ。

佐々木議員

言われることは分かった。心配なのは当時の計画から単価が違うということもあって、計画から実施に至るまで変更は当然あるだろうが、計画から実施に至るまで期間がある場合は慎重に検討しないと、また同じ轍を踏むことになる。今回の件を教訓にしてもらいたい。

当時計画で議論されたのは施設整備費はもちろんのこと、向こう20年間の維持管理費がどうかも大きな議論になってきた。浜田火葬場については20年間施設整備も人件費も物件費も含めると約15億かかる、三隅の場合は約10億で、5億差があるということでこちらになった経緯がある。実際の建設費だけでなく今後どういう経費がかかってくるのかも見ながらでないと、当時の計画との整合性もなくなってくると思う。その辺の考え方を伺う。

市民生活部長

計画時と実際にやる際の事業費が変わってくるのはよくある。反省しなければいけない。今後は今まで以上に建設部局と充分話をし、建設部局にも数字に責任を持ってもらうよう努力する。

ランニングコストの点は、仰るとおり比較検討する場合は建設費だけでなくランニングコストを含めたトータルコストで比較する必要がある。このたび示した中の図面を見て欲しい。

(以下、資料をもとに説明)

ランニングコストを含めたトータルコストと見ていただければ。

西田議長

他に。江角議員。

江角議員

結果についてはあまり申し上げないが、説明もあまり言い訳じみた格好にせず。結果的には浜田火葬場の改修計画が出たということだろうと思う。なので見直し案ということで現計画を引き継いだものと考ええると混乱する。当初の計画が出されたのは合併して施設が多いから、減らすためにはどうするかということから出発した計画だが、結論は全部の施設が残る、浜田の火葬場は改修してもたせるとなったわけだから、元々の計画を見直した代物ではないような気がする。私はその方がもっときちんとした説明がつくのではと思った。結果が全然違ってきたという意味では新計画で出されたらいかがか。

市民生活部長

最終的なC案は浜田市火葬場の改修計画で間違いない。今の整備計画の流れに沿ってない点もご指摘のとおりだ。ただ整備計画は、火葬炉が多いから統合という考えは変わっていないので、最終的に統合する意思を引き継いだ中での途中経過と整理している。統合したい意思に変わりはない。

江角議員

だから今回出されたものにそれを加えれば良い話ではないかということ。大変議論してきたものが全く違う物になったのだから。ここを次へのベースにして考えていくという計画にすれば済むことではないか。

白砂地区の皆には一炉増えるという意味で色んな相談や意見を聞いて来られた、要望も出されてきたが中身が変わったのだから、説明責任を果たすべきだろう。私どもが指摘してきた部分、最初から謙虚に受け入れられていれば、ここに来てこんな変更も恐らくなかったと思われる。きちんと説明責任を果たしていただきたい。一番大事なものは議会で色んな議論や指摘をしてきて、最終的にこのように大幅に変わってしまうと、我々は執行部の提案に対して「またどこかで変わるかもしれない」という思いで向き合っていくのか、きちんとした計画や方針に対してはしっかり向き合うのか、この部分の信頼関係が崩れるのではと心配している。きちんとした整理をして欲しい。

市民生活部長

議会が長い時間をかけて前の計画を作った経緯は私も存じている。皆の意見を聞く中でこれで進めていきたい。今後はこういうことがないようにしたい。白砂地区へのご説明は直ちに行いたい。本日議員にご了解いただけたらすぐにでも説明に行きたい。まずは議会に確認してそれからにしたい。

西田議長

他に。田畑議員。

田畑議員

1000万円近いお金をかけて整備計画を作り、このように見直されるとなると、民間企業なら個人に責任を取らせる流れになる。議会があれだけ提言したのに耳を傾けず今日まで来た。葬祭関係者とよく協議するべ

きではないかと散々提起したのを考えると呆れてものが言えない。現行A案の増築エリア621平米で3億2000万円かかると。B案でいくと865平米になって6億7000万円、この数字は普通一般的に考えるとこんなことはないと思うのだが。C案を適用した場合は差し引きで約3億9000万円違うので浜田を維持させようということだが、火葬場は三隅にあるか浜田にあるか何炉あるかは別として、なくてはならない施設であることは間違いない。地域住民にとっては迷惑施設という面もある。浜田にするという方向を決めるのであれば決めて、整備計画をお金をかけて作ったというなら、ぶれずに進んで欲しい。市民に火葬場と城山の話をしれば絶対火葬場の方が問題になる。私に言わせれば城山は無くても良い施設。数字そのものをもっと検証してやるべきだと思う。浜田にされるなら「こうさせてください議会の皆さん」とはつきり打ち出さないと、このままではよろしくない。数字はきちんと調査したものを示して、以前の整備計画についてはこのように変更させていただきたいということ早くやるべきだろう。そのためには3億9000万もの差があるのだと明確にして、案ではなく、案だとまたぶれるから、計画ですらぶれたんだから、議会に示すべく数字を見直していただきたい。

市民生活部長

建設単価を始め数字的なものが大きく変わったことについては申し訳なく思っている。当時の数字積み上げ経緯について多くを承知していないが、今後このようなことがないようにしたい。

今回浜田の火葬炉3炉やり変えるが、浜田に集約すると決めたわけではない。それについては飽くまでも今からの検討になる。浜田に統一が決まったために浜田の火葬炉を残すという話ではないのでご理解いただきたい。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

(9) 高度衛生管理型荷捌所の整備動向について

西田議長

この件について、産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、議員から質問等があれば。森谷議員。

森谷議員

4号について。解体新築する間に底曳はどこで作業するのかと、管理費をどのくらい想定しているのか。

産業経済部長

とりあえず4号建て替え時には、5号岸壁でとりあえず作業を行っていただくことが考えられる。管理費は、28年度詳細設計にかかることとなっている。省エネ対策や管理費削減方法等も考えて充分要望したいと思っている。今後のランニングコスト管理費については国県とも充分調整して、施設規模に見合っただけ出来る限り抑えたい。具体的な数字はまだ言えないことをご理解いただきたい。

森谷議員

管理費についても、例えば40億としたら管理費5%だとしたら毎年2億。その2億を浜田市が負担するか、国県市で負担するのか。

産業経済部長

飽くまでも市が事業主体と考えている。土地については島根県が管理しており、その上に市所有の市場が設置される。それをJFしまねに運営してもらおうと思っている。今後発生する建物の修繕については、所

有者である市が責任を負わねばならない。土地代や賃借料の問題もある。ただその際、県・市・JFの負担割合がどうなるかは今後詰めていかなければいけない。

森谷議員

管理費は市が100パーセント負担して、他が負担するというの聞いたことが無い。可能性があるのか。応分の負担というのは。

産業経済部長

市が管理し市が運営すれば市が全部の責任を持ってやることになるが、これについては建物が市、建物の管理運営をJFにお願いするので、JFとの費用案分の協議は出てくると思っている。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

(10) 浜田市教育大綱について

(11) 市立幼稚園の統合について

西田議長

この2件について、教育部長。

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、(10)について議員から質問があれば。澁谷議員。

澁谷議員

法改正ということで、抜本的な教育大綱ということだと思う。違和感があるのは、これまでの教育振興計画をゼロから作った事は評価するが、その内容について検証や反省がないまま次の年度が来たからといって教育振興計画をやり直すという点。検証はどうなっているのか。

教育部長

教育振興計画は総合振の下での位置づけで、具体的な実施計画のような位置づけ。第3次教育振興計画を、審議会を設けて議論を踏まえて3月議会の中で新しくお示しする予定。審議会の中でこれまでの反省も踏まえて教育総合振興計画を策定中である。

澁谷議員

反省を踏まえとのことだが、具体的なアクションプランがなくて学力向上がおぼつかないということを繰り返し言ってきている。その辺が全然見えないまま振興計画を作っても、なかなか現場でどうするのか、いくら経っても学力向上に繋がらない。教育先進市と言われる自治体は必ずアクションプランを作っている。そのアクションプランを見てもまだ具体的ではないと思うけども振興計画よりは具体的。その辺についての現行の大綱、計画とアクションプランはどのようにして浜田市の学力向上まで結び付けるつもりなのか。簡単に道筋を示して欲しい。

教育部長

最上位計画が総合振興計画であり教育大綱である。その下の実施計画が教育振興計画「はまだっ子プラン」になろうかと思う。先ほど指摘のあったアクションプランが無いということ踏まえ、このたび作成している教育振興計画については色んな教育文化、学校教育、社会教育全てのアクションプランという位置づけで色んな項目を挙げている。

澁谷議員

教育振興計画にまたアクションプランを付けるのではなく、教育振興計画の中にアクションプランを入れるのか。

教育部長

教育振興計画をアクションプランと位置付けている。

西田議長

他に。岡野議員。

岡野議員

教育大綱をいつまでの期日で作って、それを現場にいつ頃までに浸透させるつもりなのか。

教育部長

基本的には12月に作成となっているが、法的には市長任期中に作れば

良いことになっている。しかし出来るだけ早い方が良いとのことで、総合振作成年度だったのでそれに連携を取った形で作った。

周知については、すぐ学校現場等にお知らせして、ホームページにも公表する予定。

岡野議員

内容的には良いことが書いてあるが、学校現場や家庭に実際に落とし込んでどう実現していくかが重要だと思う。必要であれば新しい方策をどんどん出していかないと、言葉の問題をあれこれ言う段階ではなく取り組んでいただきたい。それは法的にいつまでにやれば良いというのではなく、本年度中に出来る範囲で学校ないし家庭に周知し、浜田市はこういうことに取り組むとケーブルテレビ等でもどんどん取り上げていただきたい。これはお願いだ。

西田議長

他に。ないなら続いて(11)について。佐々木議員。

佐々木議員

所管で何点か聞いた後に新聞報道等もあって、市民から指摘があったのでこの場で質問させていただく。幼稚園統合の事業年度が30年から33年で供用開始が33年度からとのことだが、もしかしたらその間に長浜、美川、これも年々園児数が減って33名と22名ということだ。2年間で入園が10人未満の場合は廃止という決まりもあるので、もしかしたらそういった所もこれに統合される可能性があるのかと、心配される声を聞く。その辺りも考えられるのか。

教育部長

このたびは懸案であった原井と石見の統合に関する表明なので、今後については今後の園児数も考慮しながら、別の話だと思っている。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

無いようなので、次の議題に移る。

(12) 浜田市水道料金審議会の答申について

(13) 水道料金改定最終案の延期について

(14) 相生水源地跡地の利活用について

西田議長

3件一括で説明を、上下水道部長。

上下水道部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、(12)について議員から質問等があれば。無ければ(13)については。森谷議員。

森谷議員

2番の国の財政支援について地方財政措置を行うとあるが、どんな措置なのか。

上下水道部長

現在簡易水道は特別会計で行っているが、国から高料金対策補助金というものをいただいている。統合後は簡易水道が当然なくなるので高料金対策補助金がなくなるということだったが、今回出された方針は、統合後5年間は従来どおりの補助金を出し6年目から段階的に削減して10年目で終了する方針が示された。

森谷議員

ということは激減緩和措置として5億3000万とかいう一般会計から金額を用意するという話があったが、その代わりになるような物が出てくる可能性があるのか。

上下水道部長

5億3000万円の激減緩和とは全く話が別。料金値上げをしなければならぬ理由の一つが、国の高料金対策補助金が無くなるのが大きな原因である。それが少なくとも5年間は現行どおりでやるので、再計算をする

必要があるし、お示ししている改定案については当然ながら高料金対策補助金は見込んでないので見込んだ形でどうなるかをお示しする必要があると思う。

森谷議員

高料金対策に対する措置が何かあった場合に、3700円に値上げしても貰える補助金ということか。

上下水道部長
森谷議員

貰った上でどうなるかだ。

それならここに答申があるわけだから、ここまで値上げすると煮詰まった段階でぎりぎり抑えての値上げを考えているのだと思う。5億3000万円も一般会計から貰うとか。それならそのまま行けば、今2700円が平均だとすると、3700円なら1000円違う。1000円は売上で言うと3億くらいの金額になると思う。それが何年か溜まるなら5億3000万円を一般会計から貰う必要もない。今回凍結して酷い目に遭っているわけだし、水道管の耐用年数を勝手に伸ばしているのだろう。そんなインチキのようなことをやっているのだから、もっとインフラ整備をして、そもそも余って溜めておかないといけないお金だって他の市町村の4分の1しかない。折角ここまで来たなら渡りに船という感じで一気にやってしまおうと考えるべきだと思うがいかがか。

上下水道部長

貴重なご意見だろうとは思いますが、答申にもあったとおり現行改定案では市民への負担が大きい、あるいはなかなか料金値上げをカバー出来る事業所も少ない、痛みが大きいということも勘案しながら引き続き検討させていただきたい。

西田議長
笹田議員

他に。なければ(14)について。笹田議員。

残りの土地を29年に売却すると最後に仰ったが、県への売却予定地と駐車場貸付用地と消防倉庫を足すと2643くらいになって、残りが249なのだが、249を売却すると考えて良いのか。

上下水道部長

全体面積ということで真ん中辺りに2892平米ある。消防倉庫213.57平米、県警が1500平米ということで、全体からそれらを引いた全てを売却するという事。

笹田議員

では駐車場貸付を止めて、全て売るということか。

上下水道部長

駐車場貸付については当初から、下水道処理施設工事を行うまでという期限付きで貸しているもので、今回この用地売却は水道料金の値上げの財政として入っているもので、将来的にこれは全て売却する。

西田議長
森谷議員

他に。森谷議員。

そもそもここは駅前辺りからの広範囲なエリアの下水処理場としての候補地だったと思う。キャパも駄目だしコストもかかるしということで駄目になったと思っている。ここの面積的なキャパは3000人くらいだったはず。この辺りから社家地神社までの上の辺りが丁度適しているのでそうするのかと思っていたが、それを白紙に戻すなら他に下水処理場の候補地案を考えた上でないと行き当たりばったりのような気がして不安なのだが。その辺はどう考えているのか。

上下水道部長

浜田川の左岸側になるが、相生町から河口に向けて大きく見ている。河口側を処理場候補地として検討中である。

森谷議員

検討中の段階でここを白紙にしても良いのかということ。検討してあそこがあるからここは使わなくて良いという順番でやらないとおかしいのでは。

上下水道部長
西田議長
澁谷議員

河口側に予定地があるから、これは全て無くしたということだ。
澁谷議員。

以前この水源地を解体工事をする時には産業経済部長から、大型バスの駐車場がないのでここは絶対解体しないと聞けないんだと聞いた。その頃は東公園や警察の所も空いていたのでわざわざ費用をかける必要があるかと訊いたらそういう回答だった。そのバスはどうなるのか。代替地はどこか。

上下水道部長

今回バスの駐車場用地として貸し付けているが、当初の段階から上下水道部としては期間限定にしかならない、2年ないしは3年の間しかお貸し出来ないとお話していた。その期間でも良いからと要請を受けて駐車場整備をしたわけであり、それ以降については産業経済部で検討されるのだと思う。

産業経済部長

大型バス等の駐車スペースとのこと。駅前に自前でマイクロバス等が止められる駐車場を持っておられる所も一部あるが、大型バスの場合は現状では東公園に夜間停めていただき、早朝の場合は鍵がかかっていることもあって、そういう不便さを加味して他の所もと思っていた。それで東公園の現在の駐車場と、大学付近の総合福祉センター、世界こども美術館前の駐車場等にバスを止めさせていただき、バスの乗務員にタクシー代を出すか、それとも徒歩で来られるかという対応を取らせていただいている。今後相生水源地跡が使われなくなって不便になる向きもあるので、また旅館やホテルの関係者と協議させていただきたい。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

(15) その他

西田議長

以上で執行部の報告事項が終わった。配布物には目を通しておいただきたい。執行部から、健康福祉部長。

健康福祉部長

健康福祉部と市民生活部から、浜田市の口座振込に関する通帳記帳の誤りについてご報告とお詫びをさせていただく。資料をご覧いただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

この件について、質疑は

(「なし」との声あり)

西田議長

その他議員から何か。牛尾昭議員。

牛尾昭議員

所管委員会に市長副市長がお見えにならなかったなのでこの場で尋ねる。

先般水産加工業における食品産地偽装の件について。正確には記憶していないが、恐らく平成23、24年くらいに条例に則ってA社には7000万円くらいの工場の新規投資でお金が入っていると記憶している。今回の顛末についてA社から市長副市長に対し今回についての経過説明は当然あるべきだろうと思うが、なされたのかどうか。

市長

発表になるちょっと前だったと思うが、社長から「こういう事が起きている」と。今週に社長が交代されて新社長が就任された。新社長と専務がお詫びとご報告にお見えになった。水産都市浜田として大変深刻に受け止めている。昨年秋にこの事案が発生してすぐに、再度関係事業

者に集まっていたいただき研修会をさせていただいた。

今年1月に入って逮捕があった時にも再度研修会等させていただき徹底を図ったところである。皆さんにご心配ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

西田議長

他に議員からあれば。

(「なし」という声あり)

西田議長

執行部はここで退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

西田議長

その他について。

三浦局長

議員のお手元に議員用例規集の差替えがあるので、お手元の例規集を差し替えていただきたい。委員会条例と会派代表質問の実施要領、説明用パネルの取扱い要領、新たに決定した項目をお配りしている。差替えをお願いします。

西田議長

はい。議員からは何か。

(「なし」という声あり)

西田議長

議長団から2件ほどお願いがある。1点目は政務活動費でこれまで色々視察をされていると思うが、この活動報告書が出されていない方がいる。3月定例会が始まると余裕がなくなると思うので、それまでに出来るだけ早めに視察報告を提出されるようお願いする。もう1点は議長メールについて。議員がされているFacebookの内容について苦情が議長メール当てに届いている。個々の議員には申し上げないが、Facebookに勢いで色々なコメントを出されると思うが飽くまでも市民から負託を受けた地方議会人としての自覚をしっかりと持ち、内容については十分な配慮をお願いしたい。

全体を通じて何かあれば。

(「なし」という声あり)

西田議長

では、以上で全員協議会を終了する。

[13 時 14 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久